

J-POWER グループ 経営の方向性と当面の取組み方針

- 東日本大震災を契機としてエネルギー安定供給の重要性が再認識されましたが、J-POWER グループとして、引き続き電力の安定供給確保に最大限の努力を行ってまいります。
- 震災以降、不透明な電力需給状況が継続し、また電力業界を取り巻く環境は大きく変化しており、中長期的な経営の見通しを立てがたい状況にありますが、J-POWER グループとして当面取り組むべき経営課題とその考え方について“経営の方向性と当面の取組み方針”として取りまとめましたのでお知らせします。

■ この1年間の取組み～経営環境と課題 [p.4～6]

- 2012 年度、J-POWER は逼迫する電力需給に対応して、設備の高稼働率を維持することで安定供給に貢献。大間原子力については、震災直後より休止中の建設工事を昨年 10 月に再開。一方、風力発電の着実な拡大、山葵沢・秋ノ宮地域での新規地熱プロジェクトの環境影響評価手続きの実施、中国での賀州発電所の運転開始など、国内外の事業において着実な実績を残してきた。
- また、原子力比率低下により不透明な電力需給状況が継続すると同時に化石燃料輸入増加に伴うエネルギーコストが上昇するなか、国において電力システム改革について検討が進められ、この4月に改革方針が閣議決定されたところ。
- こうした中、J-POWER グループが取り組むべき課題は、
 - 低廉かつ安定的な電力の供給
 - 地球環境問題への対応
 - 競争力強化と設備保全対策の強化・防災体制の整備
- こうした経営課題に対して、成長戦略と事業基盤強化の両立を企図して着実な打ち手を講じていく。

■ 成長戦略に向けた中長期的な供給力増強の取組み [p.7～11]

- **石炭火力のリプレイス・新增設:** ベース電源として石炭火力のニーズが増大するなか、リプレイス・新增設の可能性を追求し、世界最高水準の高効率石炭火力を環境に配慮しつつ展開。
 - 竹原新1号機リプレイスは環境アセスメント手続きを進展。
- **石炭火力高効率化の取組み:** 大崎クールジェンプロジェクトをはじめとする石炭火力の高効率化に向けた技術開発を推進すると同時に、高効率石炭火力技術を海外に移転し、グローバルな低炭素化とエネルギー消費低減に貢献。
- **大間原子力:** 不透明な電力需給状況の続く東日本において、電力安定供給に貢献。
 - 震災直後から休止していた建設工事を 2012 年 10 月に再開。
 - 新規制基準等を適切に反映し、安全対策工事を着実に実施することで、地域の皆様のご理解を賜りつつ、安全確保に万全を期し、皆様から信頼される安全な発電所を目指す。

- ▶ **グローバルな事業展開**:持分出力は 425 万 kW。タイ、インドネシア等で現在開発中のプロジェクトの確実な遂行を図る。

- **事業基盤の強化**[p.12~18]
 - ▶ **石炭火力の高稼働率の維持**:電力需給が不透明な中、経済性に優れた石炭火力への期待は高い。高稼働継続に耐える設備保全強化と経年化対策を図ると同時に運転・保守体制効率化による一層の競争力向上を目指す。
 - ▶ **石炭バリューチェーンにおける取組み**:石炭調達の最適なポートフォリオ構築と同時に、石炭バリューチェーン全体への戦略的関与を拡大することで、コスト競争力強化と収益機会拡大を追求。
 - ▶ **水力発電の設備保全強化と価値向上**:我が国有数の水力発電設備を保有。
 - 災害や環境対策ニーズに備え設備保全を適切に行なうと共に一層の競争力向上を目指す。
 - ▶ **再生可能エネルギーの推進**:引き続き風力、地熱、バイオマスなど再生可能エネルギーを積極的に推進。
 - ▶ **ネットワーク設備の着実な保全対策と増強の可能性**:既存設備の着実な保全対策を実施し、引き続き電力安定供給に貢献すると同時に、これまでの経験と技術力を活かして地域間連系設備や周波数変換設備の増強・運用面においても貢献していく。

- **財務戦略、企業体質強靱化、株主還元**[p.19~21]
 - ▶ 財務面では、成長投資への確実な対応と健全なバランスシート維持の両立を図り、着実に事業収益をあげていくことで内部留保の拡充を図る。
 - ▶ 取り巻く環境に大きな変化が生じているなか、コスト競争力強化と強靱な企業体質をめざし、継続的な経営改革を推進すると共に、長期にわたり生み出される事業の成果に応じて株主還元の充実に努めていく。

2011 年3月の大震災を契機としてわが国エネルギー業界は大きな変化の渦中にある。こうした変化の渦中にあるからこそ、J-POWER グループはその普遍的ミッション “人々の求めるエネルギーを不断に提供し、日本と世界の持続可能な発展に貢献する” の遂行に向けたチャレンジを加速していく。

以 上